

Connectrix M シリーズ アーキテクチャと管理 – Self Study

コース概要



e-Learning

この基礎レベルの自習教材では、M シリーズ・スイッチのハードウェア/ソフトウェア構成の概要について説明します。EMC を通じて入手可能な製品の範囲を紹介するとともに、M シリーズ・スイッチを管理するその他の方法についても取り上げていきます。さらに、スイッチによって利用可能となる機能の観点から見た、SAN のセキュリティの問題も取り上げていきます。

コース番号:	MR-9WP-NSMCDT-JPN		
コースタイプ:	自習教材	コース期間:	2 時間

受講対象者

このコースは、現在次の業務に携わっている方、または今後携わる予定の方を対象としています。

- M シリーズ・スイッチを使用した SAN の計画または構築
- M シリーズ・スイッチ・テクノロジーを使用した SAN の導入
- M シリーズ・スイッチの管理
- M シリーズ・スイッチの構成

受講前提条件

このトレーニングには前提条件はありませんが、ファイバ・チャネルおよびゾーニングの概念を理解しておくことをお勧めします。

目的

このコースを受講すると、下記のことを学ぶことができます。

- さまざまな M シリーズ・スイッチ・モデルの列挙
- M シリーズ・スイッチのデザインについての説明
- ED スイッチと DS スイッチのアーキテクチャの比較
- M シリーズ・スイッチの管理と構成に利用できるツールの特定
- 利用可能なセキュリティ機能およびその導入方法の説明

モジュールの内容

各モジュールは、コースの目的に対応するように設計されています。このコースには、次のモジュールが用意されています。

- 一般的なスイッチ・アーキテクチャ
- モデルの階層と機能
- ネイティブ・スイッチ・ツール
- オプション・スイッチ・ツール
- スイッチのセキュリティ

実習

このコースには実習はありません。

実力テスト

このコースには受講後に確認テストがあります。確認テストは EMC のラーニング・マネジメント・システムである KnowledgeLink 経由で受けられます。